

アドミッション ポリシー | 医学科

アドミッションポリシー | 医学科

医学部医学科は、入学者の基本的受入方針として、地域医療への理解と共感を有し、将来の医師としての強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる者を受け入れることにしています。また、基礎及び臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち、国際性を備えた研究者としての資質を有する者も受け入れています。

本医学科では、推薦入学、前期日程、後期日程のすべてにおいて、方法の異なる面接を導入し、個性輝く多様な人材の選抜を行うよう努力しています。いずれの選抜方法においても、大学入学後の学業に支障ないだけの偏りのない基礎学力を持ち、生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな者を選抜することが前提となっています。

以上の基本的受入方針に基づき、次のような入学者選抜を実施しています。

1. 一般選抜入学者

前期日程試験

論理的思考能力と国際性に優れ、医師としての適性を備えた学生を選抜します。特に、地域医療への理解、医学に対する知的関心と学習意欲、社会貢献への意欲を有する学生を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力試験等として、英語及び数学の2教科と面接を課して「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協調性」「将来性」を評価します。

後期日程試験

幅広い人間的視野を備え、人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性、資質、意欲を備えた人材を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力試験等として、小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」「協調性」「将来性」を評価します。